

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

水質科

平成12年7月17日

第16報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	10		
(珪) <i>Fragilaria sp.</i>	18		
(珪) <i>Cymbella ventricosa</i>	20		
(珪) <i>Cymbella turgidula</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	20		
(緑) <i>Cosmarium sp.</i>	1		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(緑) <i>Cosmocladium constrictum</i>	32		
(藍) 藍藻綱	10	8.2	1.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	58	47.5	32.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	20	16.4	16.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	34	27.9	50.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	122	総体積	2.10E+05
種類数	9	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Bosmina longirostris</i>	520

第2優占種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Ceriodaphnia sp.</i>	80

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Cosmocladium constrictum
(コスモクラディウム)
緑藻類

細胞は2つの球が少し重なった形をしており、繭状である。直線状の粘質系でつながって群体をなす。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ため、ゾウミジンコと呼ばれている。

コメント:

植物プランクトンは種類数・細胞数とも先週より少なかった。第1優占種となったコスモクラディウム コンストリクツムは緑藻ツツミモに属し、以前から琵琶湖で見られてきた種である。これまでの瀬田川流心での調査では、多量に発生したことはなかった。